2024年3月期　決算説明

（2023年4月1日～2024年3月31日）

2024年 5月 15日

エバラ食品工業株式会社

証券コード：2819

1. 2024年3月期 決算報告
2025年3月期 業績見通し

2. Unique 2023 振り返り

- 取締役 粟野 裕

---

3. 長期ビジョンおよび新中期経営計画について

- 代表取締役社長 森村 剛士

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry,Inc All rights reserved.

2024年3月期　決算報告

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

連結業績

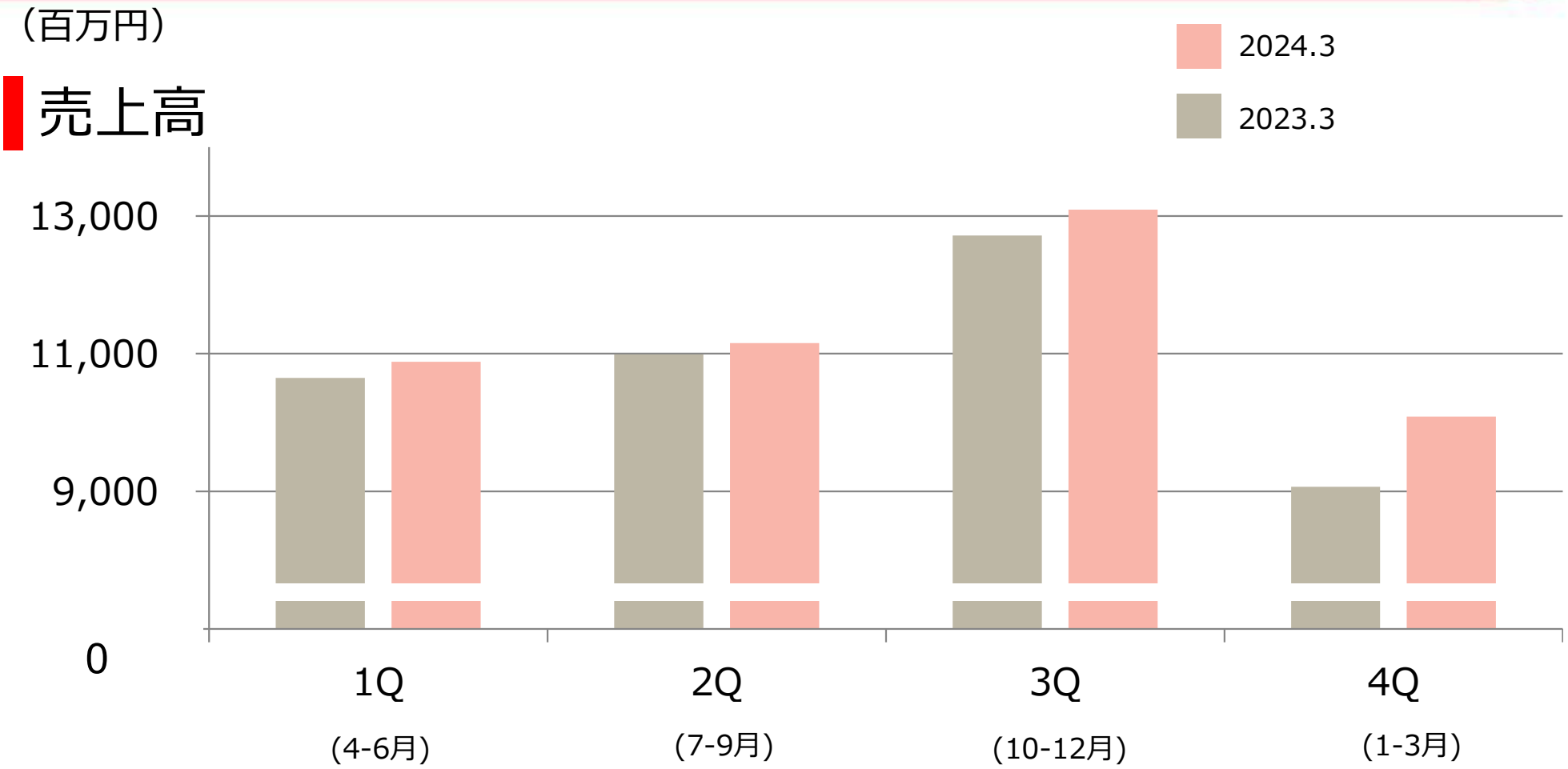
単位：百万円

- ✓ **前期比増収減益**
- ✓ **対外計画比は、売上、利益共に予算を上回る**

（百万円）	2023.3	2024.3	2023.3 対比		2024.3 期首計画対比（2024年2月7日開示）		
			増 減	増減率	計 画	増減	増減率
売上高	43,419	45,216	1,797	4.1%	44,500	1,216	1.6%
売上原価	26,999 62.2%	28,853 63.8%	1,854 +1.6pt	6.9% —			
売上総利益	16,420 37.8%	16,363 36.2%	▲57 ▲1.6pt	▲0.3% —			
販管費	13,447 31.0%	13,962 30.9%	+515 ▲0.1pt	+3.8% —			
営業利益	2,972 6.8%	2,400 5.3%	▲572 ▲1.5pt	▲19.2% —	2,000 4.5%	416	20.8%
経常利益	3,180 7.3%	2,628 5.8%	▲551 ▲1.5pt	▲17.4% —	2,100 4.7%	544	25.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,177 5.0%	1,802 4.0%	▲375 ▲1.0pt	▲17.2% —	1,400 3.1%	410	29.3%

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

売上高（四半期推移）



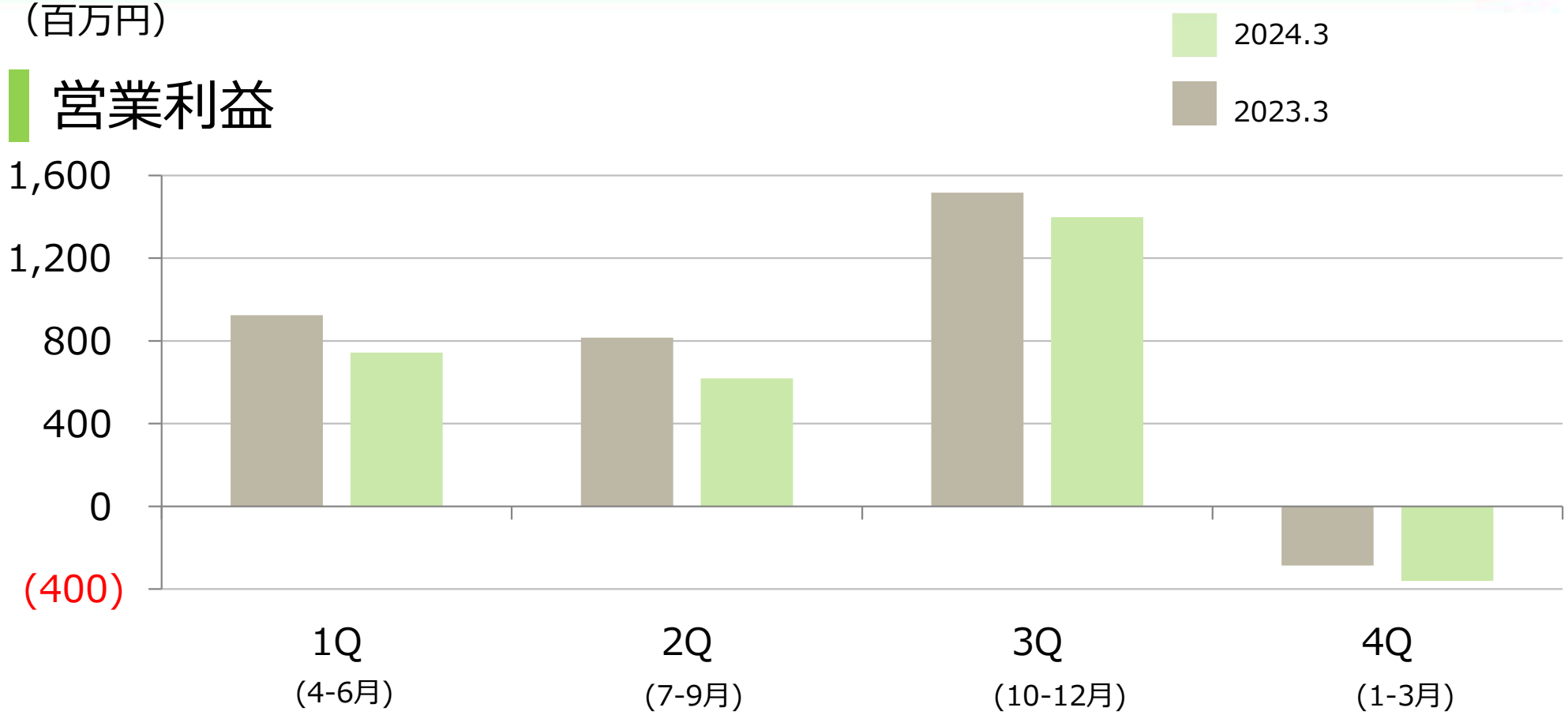
2024.3	10,881	11,154	13,093	10,087
2023.3	10,649	10,988	12,715	9,066
増 減	231	166	377	1,021
増減率	2.2%	1.5%	3.0%	11.3%

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

営業利益　四半期推移

（百万円）

営業利益

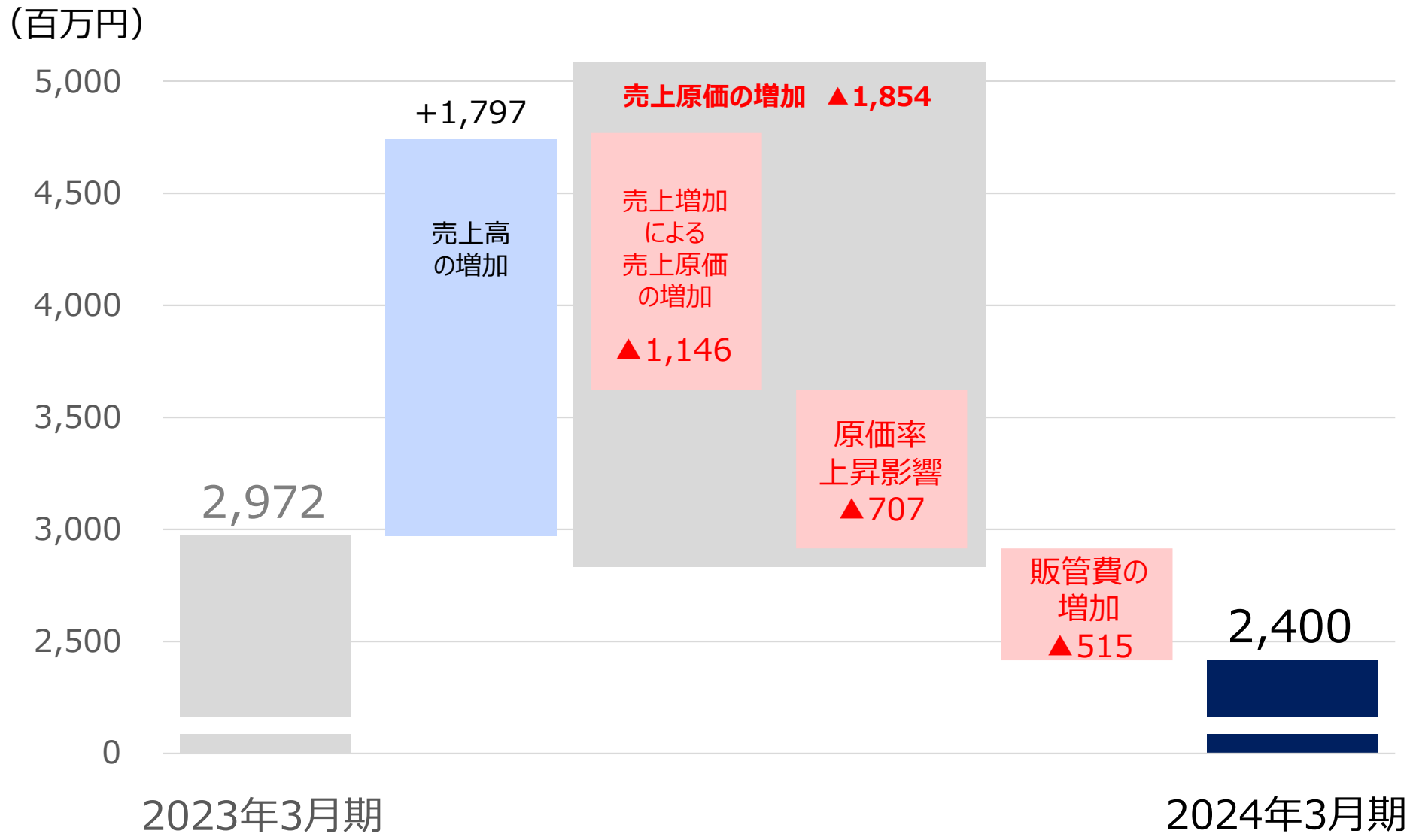


	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)
2024.3	743	619	1,398	▲360
2023.3	924	816	1,516	▲286
増 減	▲181	▲196	▲118	▲74
増減率	▲19.6%	▲24.1%	▲7.8%	-

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

営業利益　増減分析

✓ 原材料価格高騰に伴う**売上原価率の上昇が利益減の主要因**



Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

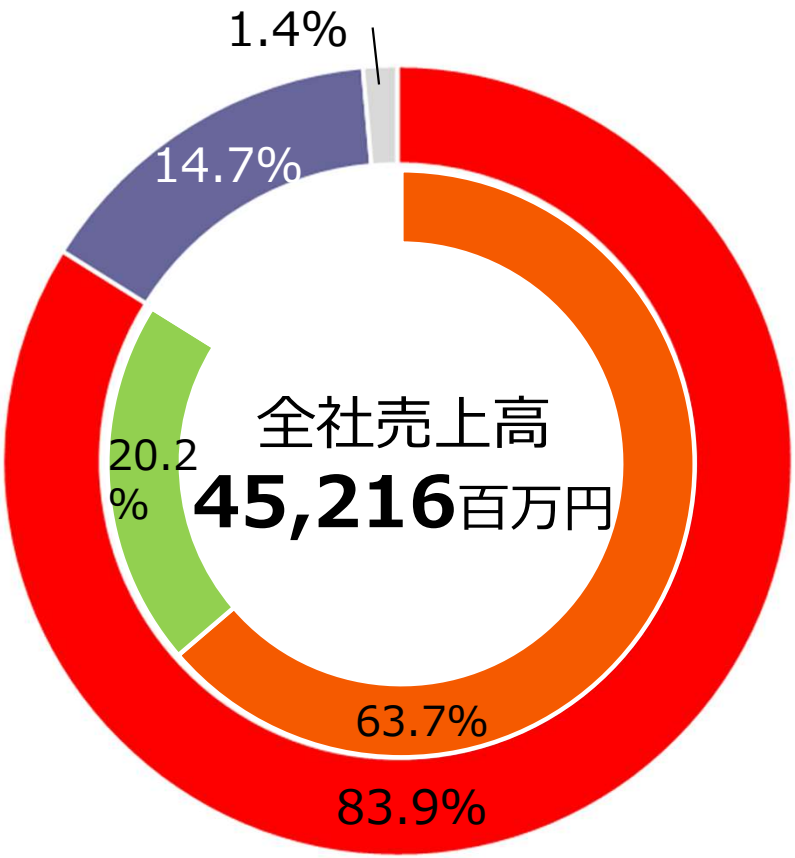
2024年3月期　決算報告

セグメント･製品区分別　売上高

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

セグメント・製品区分別　売上高

売上構成比（ 2024年3月期 ）



食品事業　**37,946百万円**
(前期比4.8%増)

家庭用商品　28,798百万円
(前期比2.0%増)

業務用商品　9,148百万円
(前期比14.9%増)

物流事業　**6,633百万円**
(前期比0.5%減)

その他事業　**636百万円**
(前期比14.6%増)

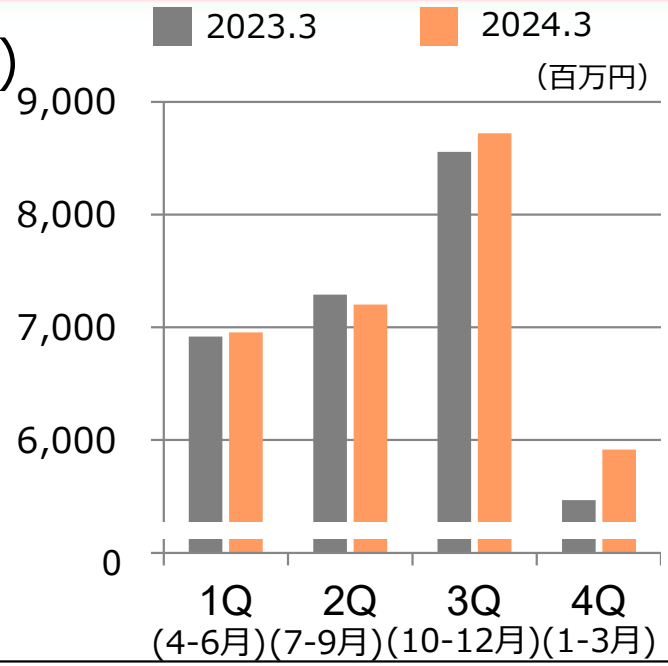
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

セグメント・製品区分別　売上高

食品事業（家庭用商品）

売上高増減率
前期比　＋2.0%

（百万円）	通期売上高
2024.3	**28,798**
2023.3	28,231
増減	**＋566**



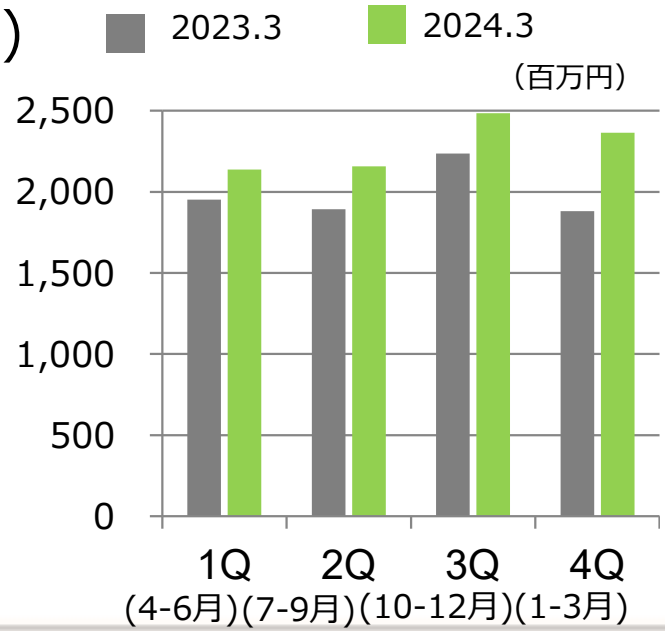
ポーション調味料等の売上が大きく伸長

売上伸長商品(抜粋)

食品事業（業務用商品）

売上高増減率
前期比　＋14.9%

（百万円）	通期売上高
2024.3	**9,148**
2023.3	7,963
増減	**＋1,184**



外食産業の回復により全商品群で売上伸長

・全ての海外現地法人で売上伸長
・第4四半期から丸二株式会社を連結対象に

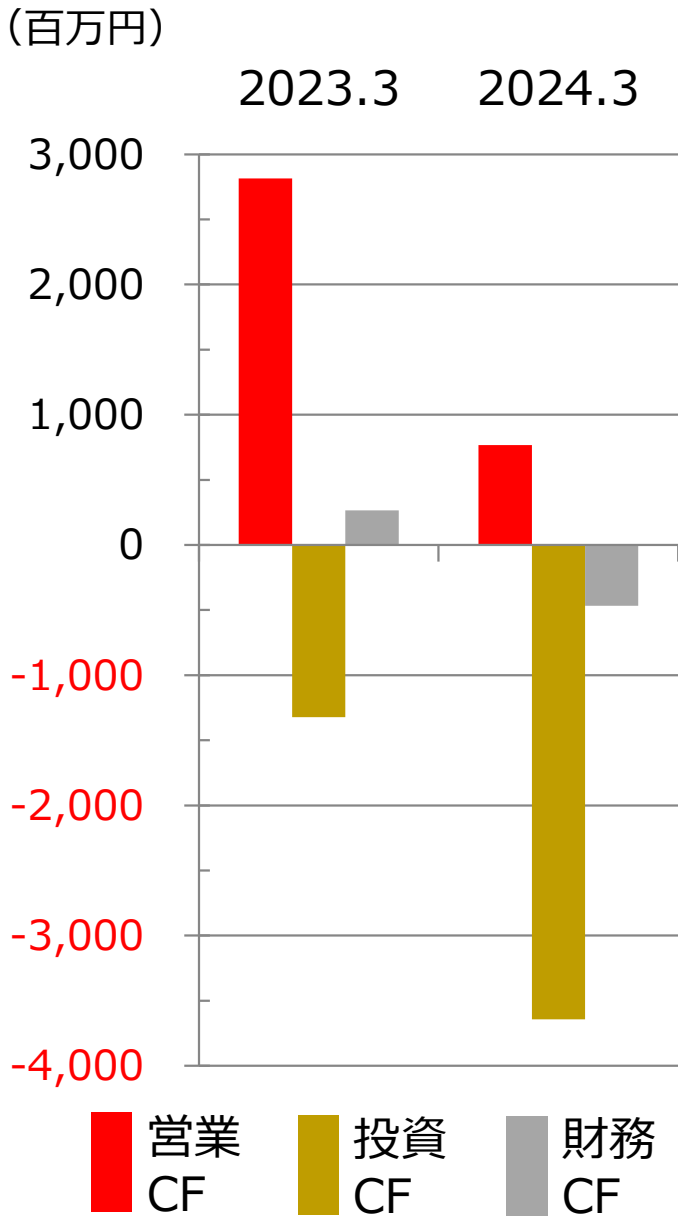
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

2024年3月期　決算報告

キャッシュ・フロー

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

キャッシュ・フロー



（百万円）

	2023.3	2024.3	増 減
営業キャッシュ・フロー	2,814	767	▲2,047
投資キャッシュ・フロー	▲1,323	▲3,642	▲2,319
フリーキャッシュ・フロー	**1,491**	**▲2,875**	**▲4,366**
財務キャッシュ・フロー	265	▲468	▲734
現金及び現金同等物の増加額（▲は減少額）	1,825	▲3,210	▲5,035
現金及び現金同等物の期末残高	17,590	14,379	▲3,210

2024.3

営業CF	税金等調整前当期純利益	2,645百万円
	減価償却費	1,055百万円
	売上債権の増加	▲2,644百万円
投資CF	有形固定資産の取得	▲3,323百万円
財務CF	配当金の支払	▲392百万円

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

2025年3月期　業績見通し

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

2025年3月期　業績見通し

（百万円）	2024.3	業績見通し 2025.3	増減率	増減要因
売上高	45,216	46,600	3.1%	✓ 丸二社の連結計上 ✓ 主力商品の販売拡大
営業利益	2,400 5.3%	1,000 2.1%	▲58.3%	✓ 売上原価約10億円上昇 -原材料、エネルギーコスト -減価償却費 (タイ工場、津山ポーションライン) ✓ 販管費約3億円上昇 -物流費の上昇など
経常利益	2,628 5.8%	1,100 2.4%	▲58.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,802 4.0%	700 1.5%	▲61.2%	

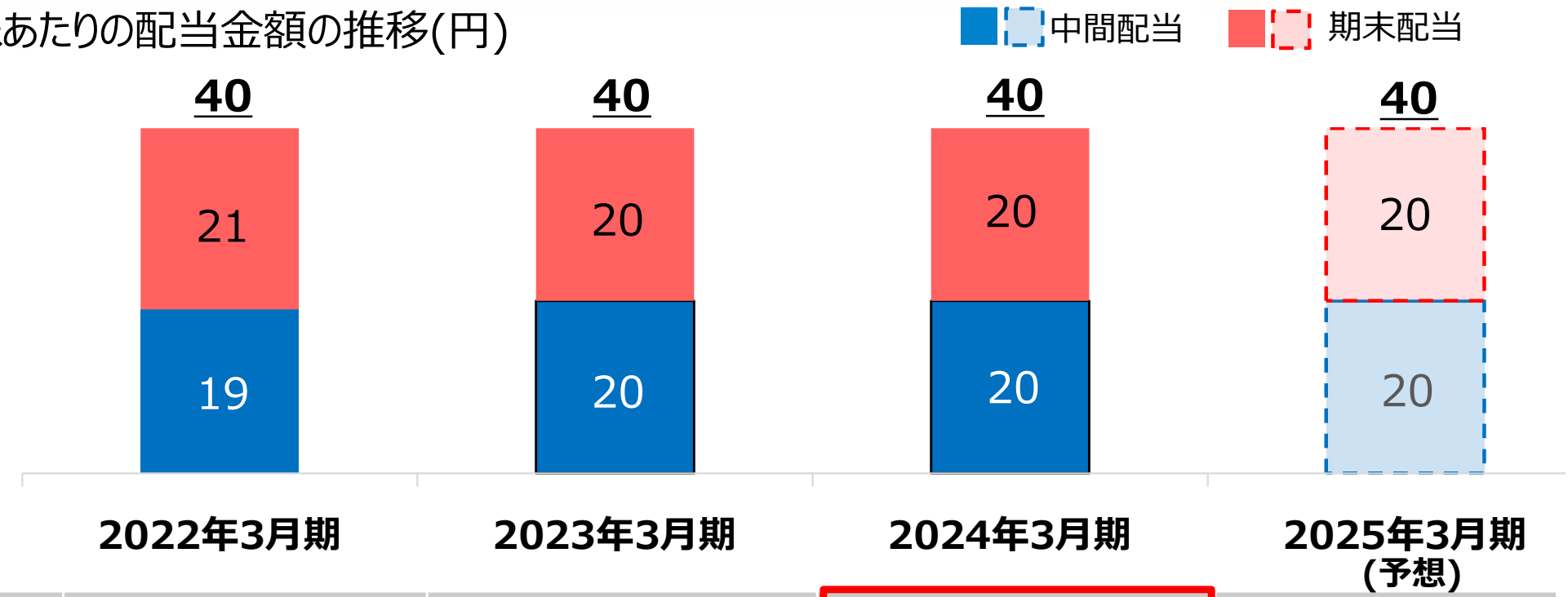
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

株主還元

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

株主還元

■1株あたりの配当金額の推移(円)



	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期(予想)
配当総額(百万円)	396	392	392	392
配当性向	14.7%	18.0%	21.8%	56.0%
DOE	1.4%	1.3%	1.2%	1.2%
自己株式取得額(百万円)	459	147	0	適宜検討
総還元性向	31.6%	24.8%	21.8%	(中計目標：50%以上)

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

1.　2024年3月期　決算報告
　　2025年3月期　業績見通し

2.　Unique 2023　振り返り

■ 取締役　　粟野　裕

3.　長期ビジョンおよび新中期経営計画について

■ 代表取締役社長　森村　剛士

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry,Inc　All rights reserved.

中期経営計画

※Unique = 「唯一の/たった一つの/面白い」という意。

Unique 2023

～エバラらしさの追究～

（2019年4月～2024年3月）

基本戦略

Ⅰ．コア事業による収益強化 と 戦略事業の基盤確立

・事業の根幹であるコア事業においては更なる収益強化を目指す
・戦略事業においては当社の将来成長のための収益基盤化を目指す

Ⅱ．“エバラらしく＆面白い” ブランドへの成長

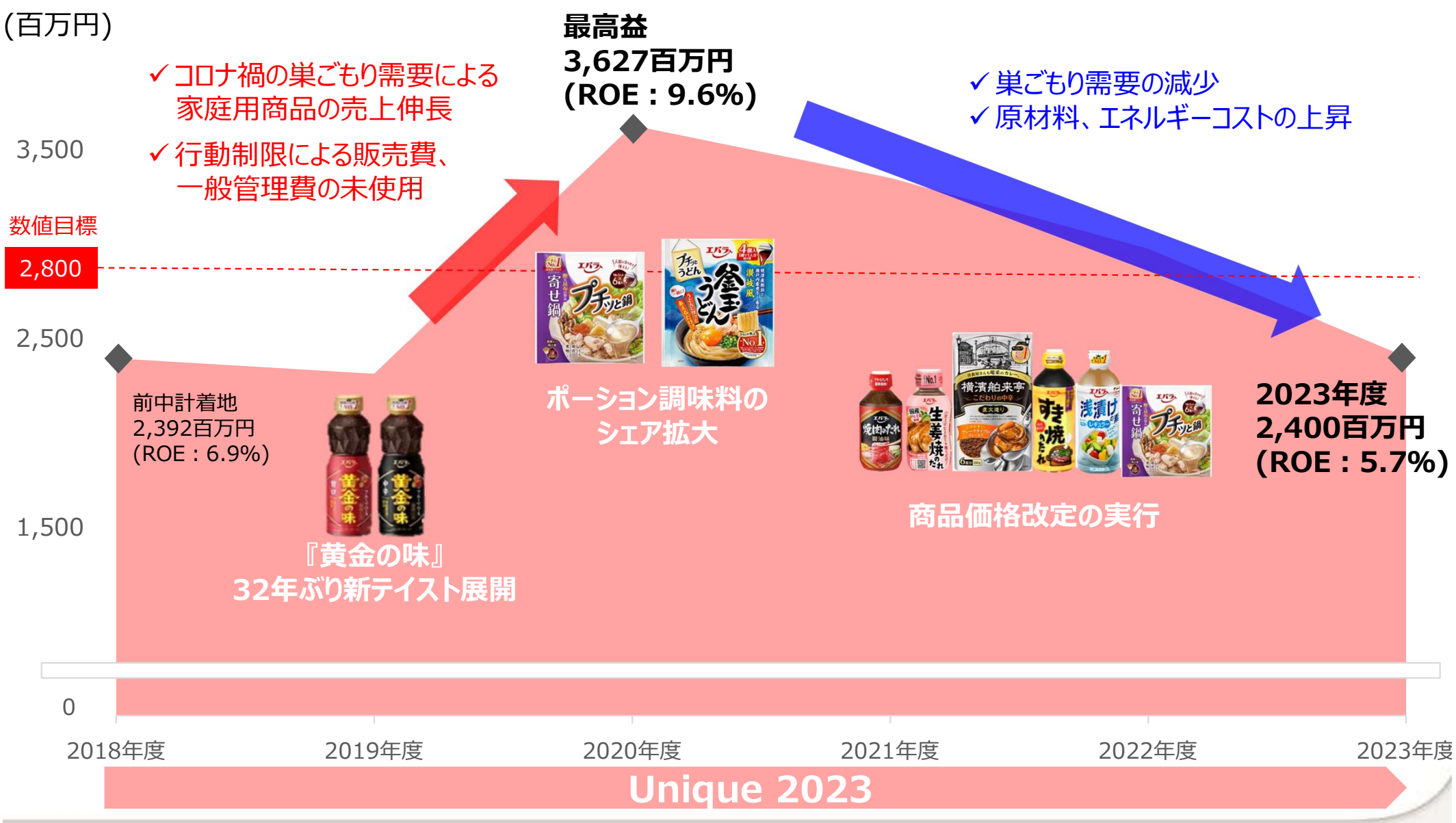
・これまで積み上げてきた”エバラらしさ”に、「冒険、反論、失敗の自由」から生まれる”独自性”＝“面白さ”を加え、エバラブランドの成長を目指す

2023年度
連結数値目標

営業利益	28億円
海外売上高	20億円
ROE	6%

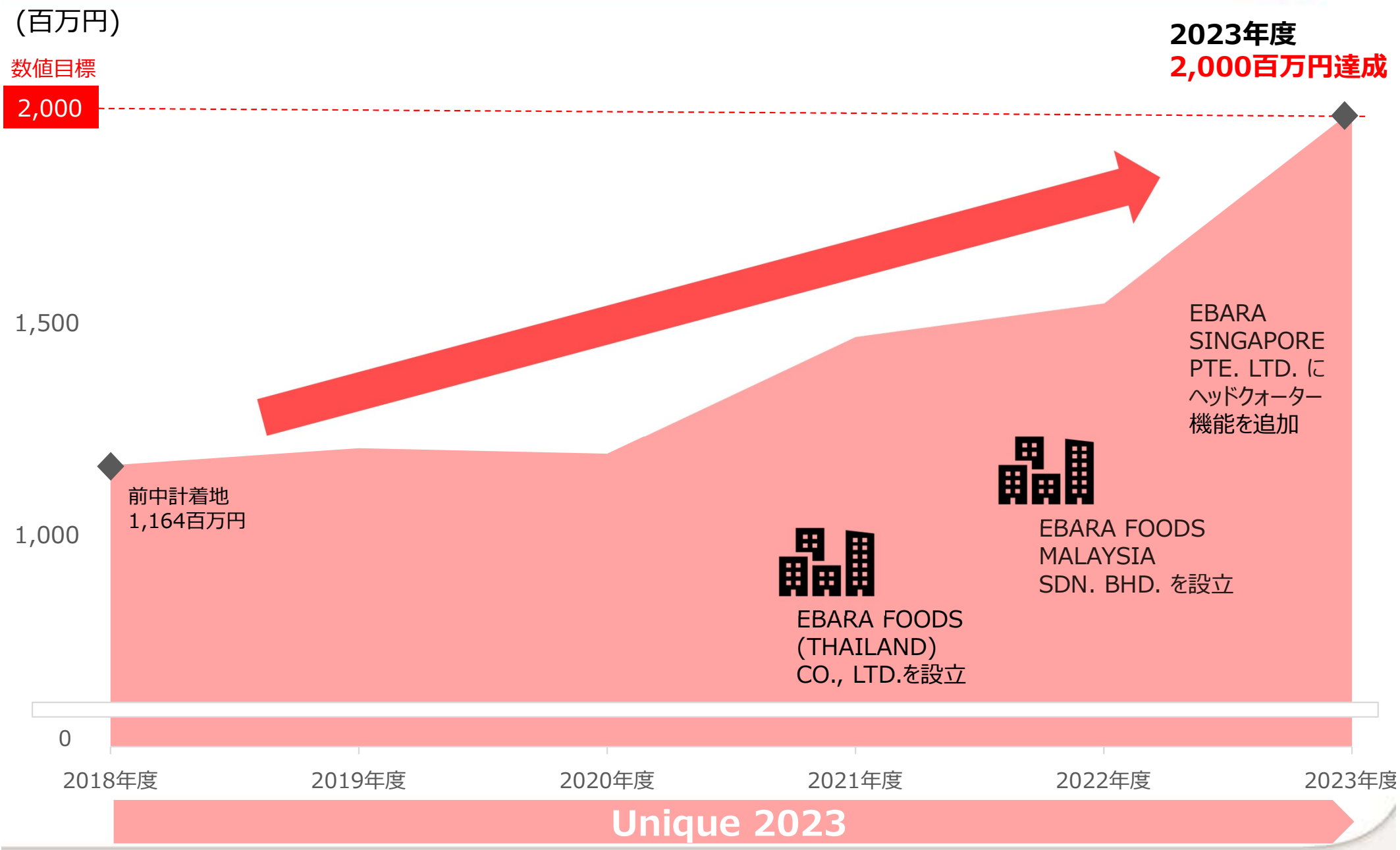
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

営業利益の推移（Unique 2023）



Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

海外売上高の推移（Unique 2023）



Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

Unique 2023期間に顕在化した新たな変化と課題

課題認識

国内事業に依存した利益創出モデルから、
持続的な成長を実現できる企業体質への転換が必要

外部の変化

世界的なインフレの急拡大
原材料価格高騰 / 物流危機が背景

ライフスタイル/嗜好の多様化
働き方/消費・購買行動/健康意識

バリューチェーンにおける変化
職種・雇用の変化 / 人材の流動性加速

内部の施策

グループ体制を変革
中間持株会社（エバラビジネス・マネジメント）の新設
国内外のグループ企業増加

「成長投資」を本格化
設備投資(タイ工場、ポーションライン)
M&A(ヤマキン、丸二)

長期ビジョン・新中期経営計画策定へ

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

1. 2024年3月期 決算報告
2025年3月期 業績見通し

2. Unique 2023 振り返り

■ 取締役 粟野 裕

---

3. 長期ビジョンおよび新中期経営計画について

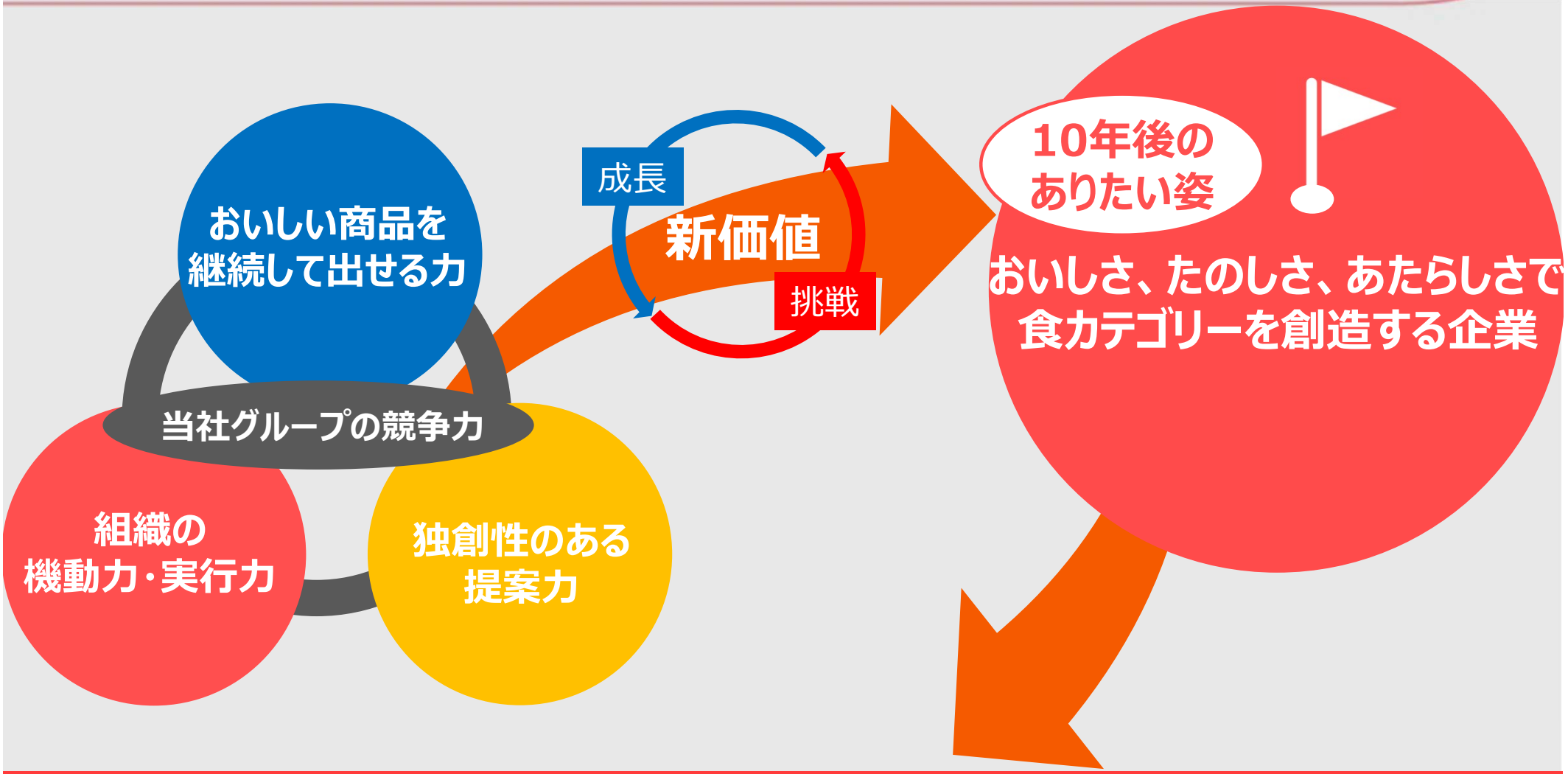
■ 代表取締役社長 森村 剛士

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry,Inc All rights reserved.

2033年度に向けた
長期ビジョン

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

エバラ食品グループのありたい姿



長期のありたい姿

独自性のある商品・サービスで人々の食生活に貢献し、社会に必要とされる存在へ

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

事業を取り巻く環境と重要課題(マテリアリティ)

当社グループをとりまく環境変化

外的要因

- 気候変動
- お客さまニーズの多様化 / 健康意識の高まり
- 国内人口/労働人口の減少
- デジタルシフト
- 原材料、物流コストの上昇(インフレの拡大)

内的要因

- 国内事業に依存した利益構造
- 原材料サプライヤーとの共存関係
- 従業員の流動化
- グループ企業の増加

当社グループの重要課題(マテリアリティ)

食の安全・安心の確保	豊かな食生活と心身の健康への貢献	持続可能な原材料の安定調達	気候変動の緩和と対応
多様な食ニーズへの対応	環境に配慮した商品・サービスの実現	組織と人材の活性化	グループガバナンス体制の強化

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

ありたい姿の実現に向けた10年間の長期ビジョン

10年後のありたい姿

おいしさ、たのしさ、あたらしさで食カテゴリーを創造する企業

キーサクセスファクター

挑戦と成長のサイクルによる持続的な新価値の提供

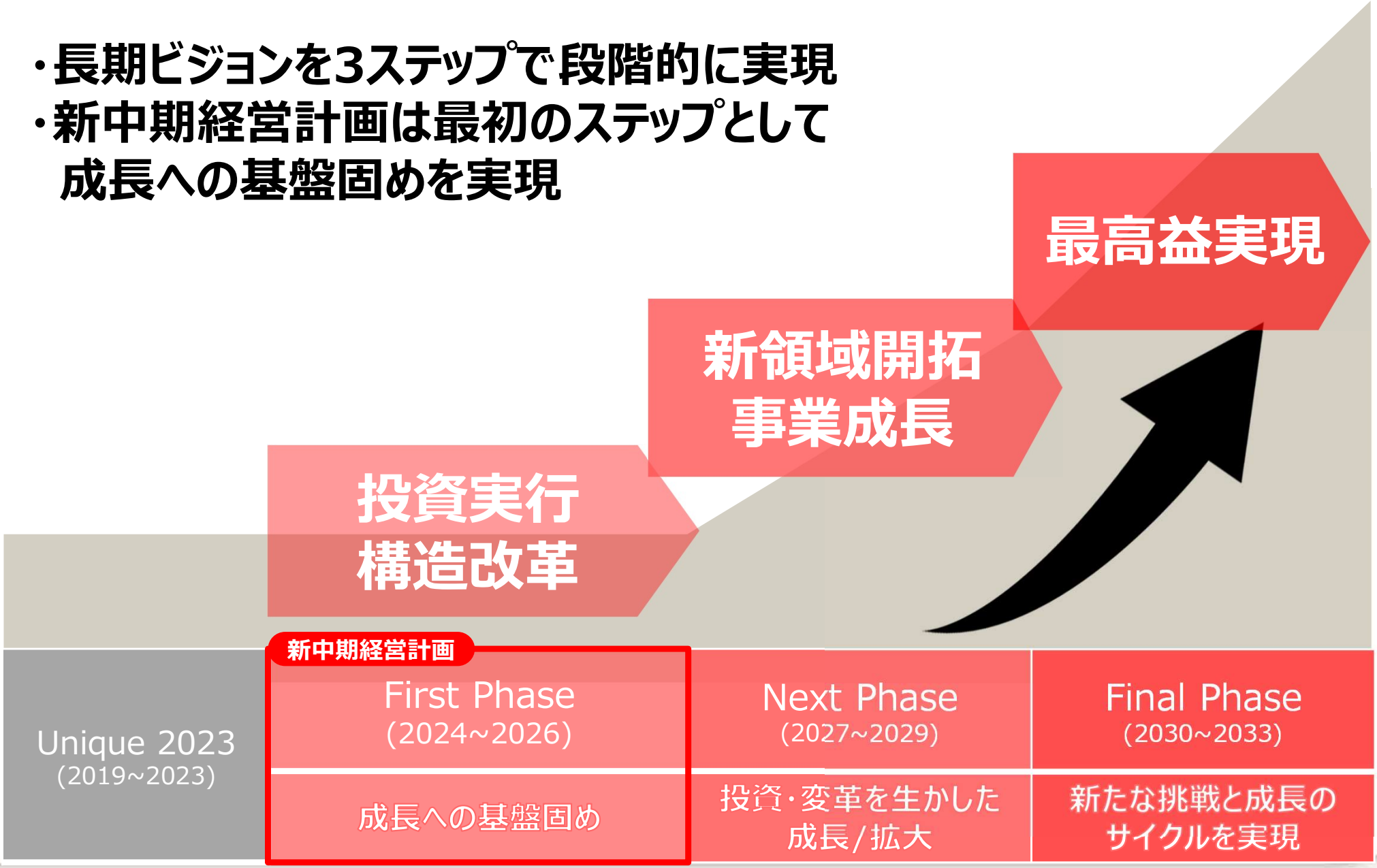
ミッション

1. 国内/海外における次代の中核を成す多様な人材が育成・登用され、エバラ食品グループが密接に連携したビジネスフォーメーションの実現
2. 製造体制の変革により、大量生産から多品種少量生産までの対応力UP、液体に加え粉末調味料分野でもビジネス領域を拡大
3. 自社の技術力、ニッチ＆トップ戦略をベースにした健康分野を始めとする新たなビジネス確立と特定領域におけるリーダーカンパニーの地位獲得
4. 東南アジア地域における自社商品の浸透と、他グローバル地域への拡大
5. ICTの利活用を通じた「データ活用型経営」「業務プロセス改革」の実現

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

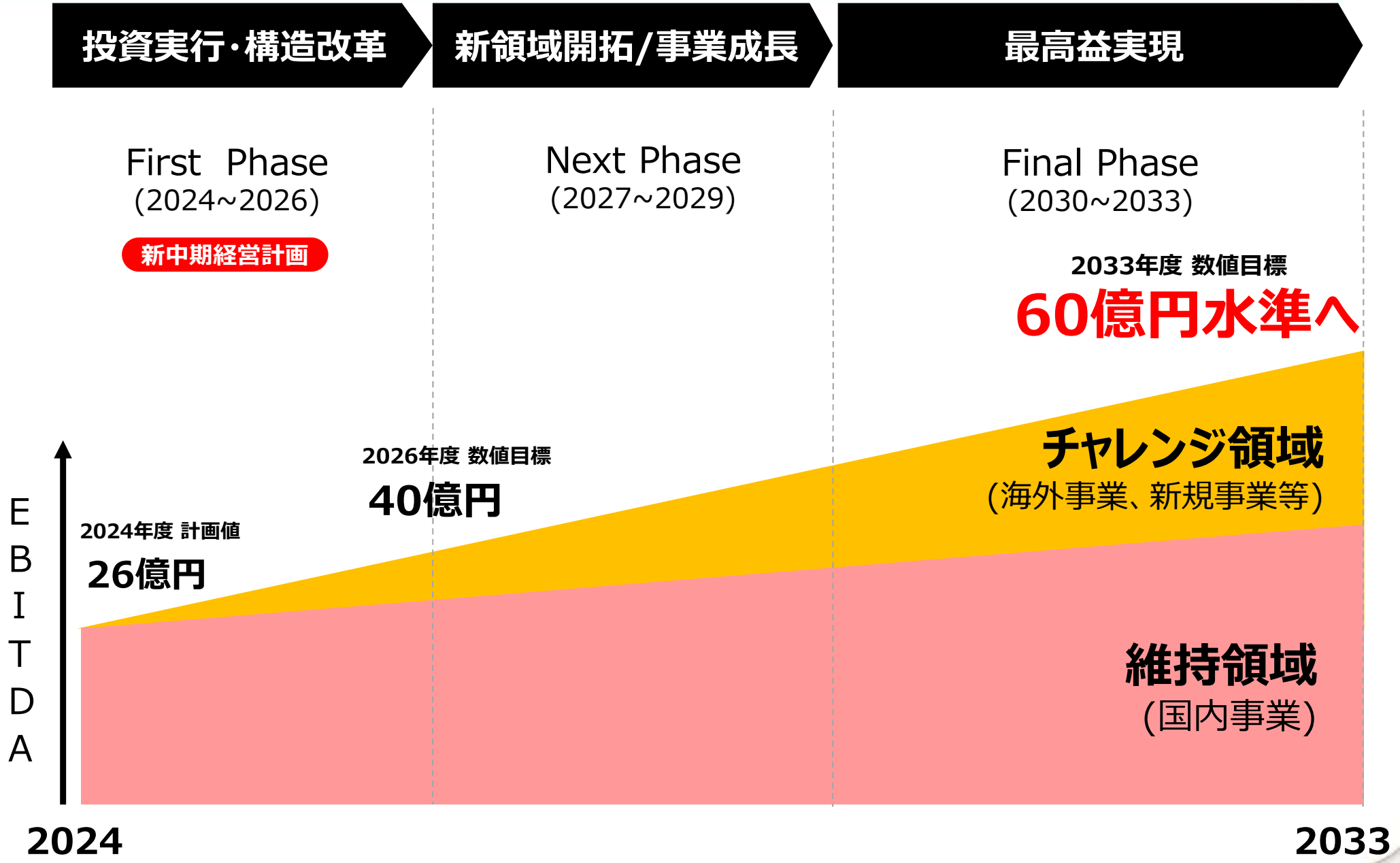
2033年度 ビジョン実現に向けて

・長期ビジョンを3ステップで段階的に実現
・新中期経営計画は最初のステップとして
　成長への基盤固めを実現



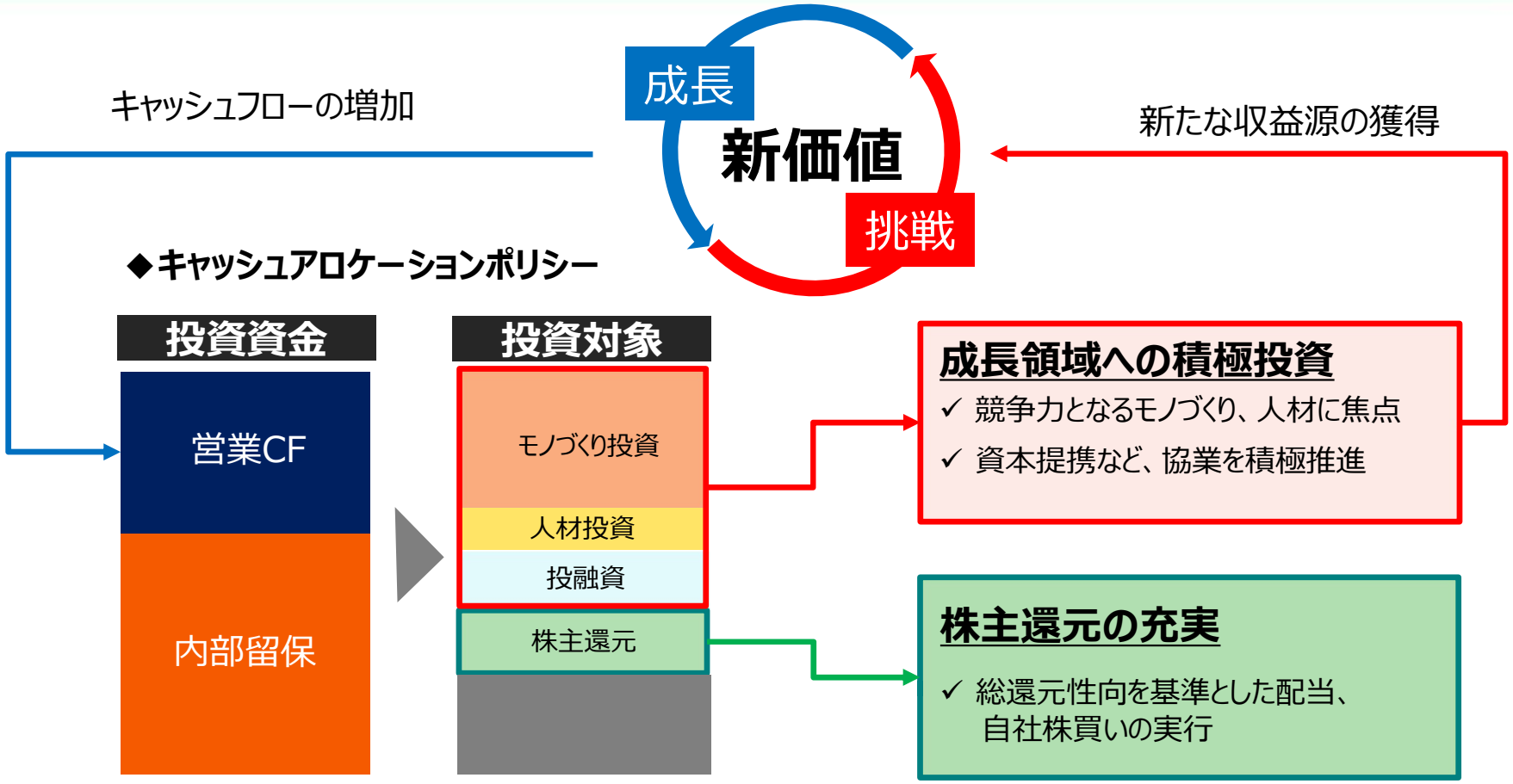
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

2033年度に向けた利益成長イメージ



Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

2033年度に向けた財務戦略



✓ 「挑戦と成長のサイクル」で収益力を高め、持続的な企業価値の向上へ
✓ 以下の指標でPBR向上を図る

- EBITDA:26億円（2024年度）➡60億円水準（2033年度）
- ROE：約２％（2024年度） ➡ ７％以上（2033年度）＞当社グループ資本コスト

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

新中期経営計画
Ebara Reboot 2026
(2024～2026)

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

新中期経営計画 (2024～2026年度)

新中期 経営計画	**Ebara Reboot 2026**
重要方針	「売上拡大＝利益獲得」ではなく、 「適正な経営資源投下による売上形成・利益最大化」に取り組む
グループ 基本戦略	**1．既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求** **2．新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立** **3．従来の枠組みに捉われない経営基盤改革の深化** 既存事業　新価値創造　人的リソース　ICT化　プロセス改革
連結数値目標	EBITDA 40億円　海外売上高比率 5%以上　総還元性向 50%以上 (営業利益＋減価償却費)

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

新中期経営計画の基本戦略

長期ビジョン実現に向けた「基盤固め」を
エバラ食品グループ一丸で実現

1 既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求

◆モノづくり、販売体制、各種プロセスの効率化を進め、既存領域の事業に磨きをかける

2 新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立

◆家庭用、業務用、海外の全てに共通で、次世代（健康など）に向けた商品やコミュニケーションを展開し、将来の成長に向けた投資を実行

3 従来の枠組みに捉われない経営基盤改革の深化

◆採用、育成、評価、制度、権限など、あらゆる面での改革を実現

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

新中期経営計画の基本戦略

1 既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求

◆モノづくり、販売体制、各種プロセスの効率化を進め、既存領域の事業に磨きをかける

ポーション調味料の売上拡大 ▶ **3年で10億円の積み上げ**

津山工場に新設したラインを活用、早期に安定的な稼働を実現し、
ポーション調味料の市場シェアを更に拡大

主力商品群のシェア拡大 ▶ **お客様支持率No.１の追求**

既存商品の価値訴求と新商品開発を連携させ、相乗効果を実現

業務用事業の収益性改善 ▶ **営業利益率の向上**

採算性と将来性を見据えた商品ポートフォリオの見直しと新たな収益
商品を開発、育成

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

新中期経営計画の基本戦略

2 新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立

◆家庭用、業務用、海外の全てに共通で、次世代（健康など）に向けた商品やコミュニケーションを展開し、将来の成長に向けた投資を実行

開発プロセスの更なる強化 ▶ **新エリア、新チャネル商材の開発**

国内外のマーケティング能力強化や品質基準深化を通じた新市場、新商材の開発

新技術の活用 ▶ **より柔軟なモノづくりの実現**

自社研究やM&Aで獲得した新技術を活用した商品開発
知的財産戦略による競争力強化

専門組織の運用 ▶ **新規事業、市場の開拓**

新技術や新しいアイデアの共有、商品化までのスピードアップをグループ全体で実現

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

新中期経営計画の基本戦略

3 従来の枠組みに捉われない経営基盤改革の深化

◆採用、育成、評価、制度、権限など、あらゆる面での改革を実現

人的リソースの機能最大化 ▶ **従業員エンゲージメント向上**

強化策/成長プランに基づいた組織設計と運用

データ活用経営の基盤整備 ▶ **ICT利活用の進化**

データ活用型のビジネス推進、事業拡大、業務プロセスの効率化に向けた
次世代型ICTシステムの設計・構築

経営とサステナビリティの一体化 ▶ **環境変化への対応力向上**

中期経営計画の施策とマテリアリティの繋がりを明確化

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

新中期経営計画 (2024～2026年度)

新中期 経営計画	**Ebara Reboot 2026**
重要方針	「売上拡大＝利益獲得」ではなく、 「適正な経営資源投下による売上形成・利益最大化」に取り組む
グループ 基本戦略	**1．既存事業/領域を磨き上げ、高収益化を追求** **2．新市場/新価値創造による新たな成長軌道の確立** **3．従来の枠組みに捉われない経営基盤改革の深化** 既存事業　新価値創造　人的リソース　ICT化　プロセス改革
連結数値目標	EBITDA 40億円　海外売上高比率 5%以上　総還元性向 50%以上 (営業利益＋減価償却費)

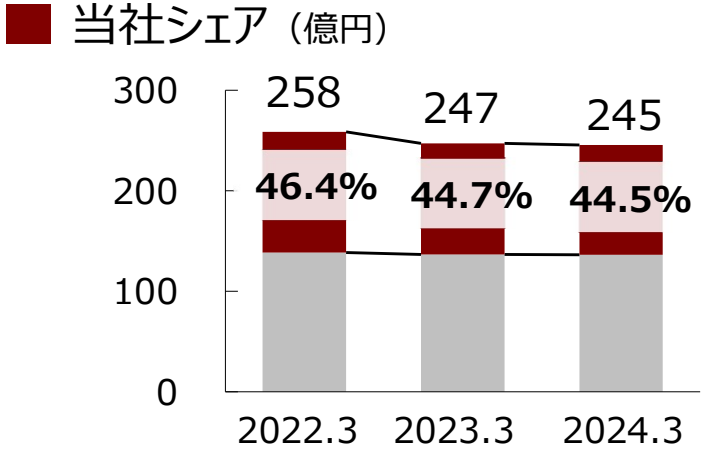
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

～ 参考資料 ～

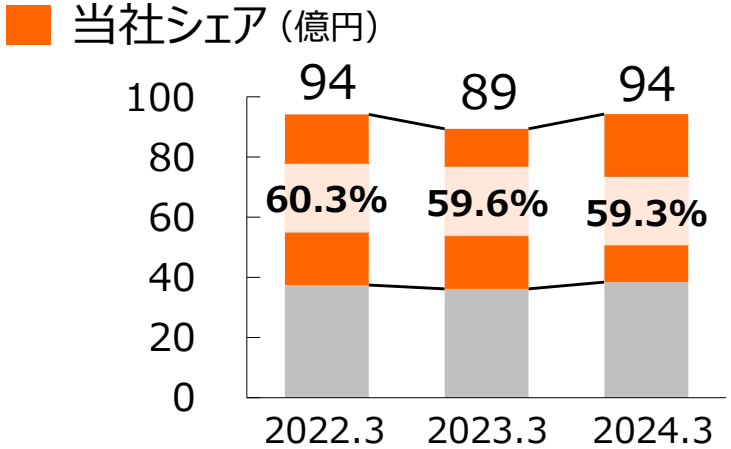
Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

〔参考資料〕市場規模と当社シェア

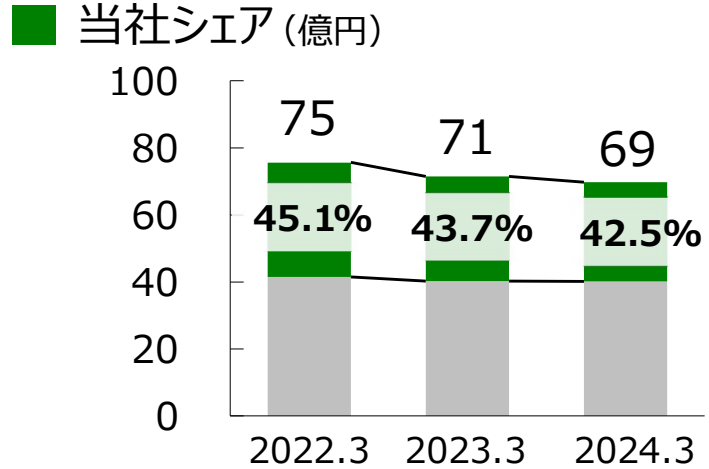
焼肉のたれ



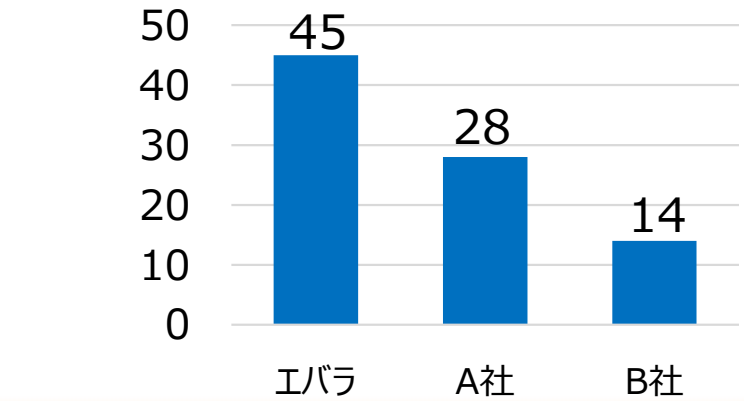
すき焼のたれ



浅漬けの素



プチッと鍋(個食鍋)



出典：インテージ SRI+ 焼肉のたれ・すき焼きのたれ・浅漬けの素市場
インテージ SRI＋ 鍋・つゆ類
(2021年4月～2024年3月 累計販売金額・金額シェア)

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

〔参考資料〕会社概要

商　号	エバラ食品工業株式会社
本店所在地	横浜市西区みなとみらい四丁目４番５号
代 表 者	代表取締役社長　森村　剛士
事業内容	調味料食品の製造販売
資 本 金	13億8,713万円
設　立	1958年（昭和33年）　5月
従業員数	【連結】821名　【単体】507名　（2024年3月末時点）
連結子会社	株式会社 エバラビジネス・マネジメント 株式会社 横浜エージェンシー＆コミュニケーションズ 株式会社 エバラ物流 丸二株式会社 EBARA SINGAPORE PTE. LTD. 荏原食品（上海）有限公司 荏原食品香港有限公司 台灣荏原食品股份有限公司 EBARA FOODS (THAILAND) CO., LTD. EBARA FOODS MALAYSIA SDN. BHD.
持分法適用会社	株式会社スギショーテクニカルフーズ

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

〔参考資料〕沿革①

１９５８年	５月	荏原食品株式会社 設立
１９６８年	１月	『札幌ラーメンの素（味噌スープ）』発売
	３月	『焼肉のたれ・朝鮮風』発売
	７月	エバラ食品工業株式会社に商号変更
１９７０年	４月	テレビＣＭ 開始
１９７８年	６月	『黄金の味』発売、テレビＣＭを全国一斉放映
１９８０年	７月	群馬工場（群馬県伊勢崎市） 稼働
１９８４年	４月	栃木工場（栃木県さくら市） 稼動
	１１月	宣伝部門を独立 株式会社横浜エージェンシーを設立
１９９０年	５月	株式会社エバラ物流を設立
１９９４年	４月	津山工場（岡山県津山市） 稼動
２００３年	１１月	日本証券業協会に株式を店頭登録
２００４年	９月	株式会社サンリバティー横浜（人材派遣業）を子会社化
	１２月	ジャスダック証券取引所（当時）に株式を上場
２００５年	４月	荏原食品（上海）有限公司を設立
２０１１年	６月	チルド事業に関する合弁会社 株式会社エバラCJフレッシュフーズを設立
２０１２年	１１月	荏原食品香港有限公司を設立
２０１３年	１１月	東京証券取引所市場第二部に市場変更
２０１４年	４月	株式会社横浜エージェンシーが株式会社サンリバティー横浜を吸収合併
	５月	株式会社横浜エージェンシーが株式会社横浜エージェンシー＆コミュニケーションズに商号変更
	５月	本社を横浜市西区みなとみらい四丁目に移転
	１２月	東京証券取引所市場第一部に指定

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

〔参考資料〕沿革②

２０１５年	３月	荏原食品香港有限公司 シンガポール支店を設立
２０１７年	１月	台灣荏原食品股份有限公司を設立
２０１８年	８月	EBARA SINGAPORE PTE. LTD.を設立
２０２１年	６月	EBARA FOODS (THAILAND) CO., LTD.を設立
２０２１年	10月	合弁会社 株式会社エバラCJフレッシュフーズの全株式を譲渡
２０２２年	１月	株式会社スギショーテクニカルフーズの株式を取得
２０２２年	4月	株式会社エバラビジネス・マネジメントを設立
２０２２年	5月	EBARA FOODS MALAYSIA SDN. BHD.を設立
２０２２年	5月	ヤマキン株式会社の株式を取得
２０２３年	10月	丸二株式会社の株式を取得

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc.　All rights reserved.

免責事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.

こころ、はずむ、おいしさ。

エバラ

Copyright © 2024 Ebara Foods Industry, Inc. All rights reserved.